

中学3年社会の授業で

「株式会社ゲーム」を行いました

中学3年の社会（公民）の授業で、日本証券業協会/東京証券取引所主催の「株式会社ゲーム」に取り組んでいます。この教材は5～6人のチームに分かれた生徒たちが、仮想所持金(1,000万円)をもとに、東京証券取引所に上場している銘柄（市場第一部、第二部、マザーズなど）について、どの銘柄を売買するのか議論しながら、実際の株価（終値）に基づいて株式の模擬売買を行うシミュレーション教材で、株式の模擬売買を通じて、株価変動の背景となっている現実の経済・社会の動きに生徒たちの目を向けさせることを目的とするものです。

6月25日（月）の授業では、取り組み始めて1ヶ月の中間報告を行いました。各チーム、投資テーマやテーマ設定の理由、売買した株式の紹介、チームの資産増減の結果、その背景を5分間で発表しました。



